

2019年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属折尾幼稚園

| No. | 基本目標 | 【業務事業】 具体的施策 | 今年度の取組に対する自己評価 | 学校関係者の評価 |
|-----|-----------|---|---|--|
| 1 | 保育内容の充実 | [保育のスキルの向上] 様々なテーマに合致する園内研修の実施 | 園内・園外研修並びに計画的研修（個人研修）や附属3園合同の研修会、教育課程の見直しを行うことにより、保育力を高め、今の子どもたちに沿った保育を展開していった。また、個人研修においては研修内容の報告会を行い、みんなで共通理解し園全体の質の向上を図るように努めた。 | 3園合同研修会は、中々集まらない中、コミュニケーションの高まりになり、良いと思った。数人しか行けない平日の研修で、学んだ事を情報共有している事は良いことだと評価できる。 |
| 2 | | [体験型保育の充実] 園の特色を生かした教育課程の編成 | 年間を通して季節の野菜栽培から、収穫してクッキングを行い食育に繋げる事が出来た。また、今年度より冬場にマラソンを取り入れ、体力向上目指し本城陸上競技場でマラソン大会も行った。餅つきに関しては。平日の保育時間に行い、餅が出来るまでの流れがわかり、搗いたり丸めたりと楽しめた。 | 野菜栽培は小学校もしており、ぞ分たちが育てたものは食べる事が出来るようになるので、食への関心が深まる。マラソンも小学校でもしているが、自分との闘い・力がついていくと思った。 |
| 3 | 大学・地域との連携 | [地域の福祉施設等との連携] 園行事への参加、および地域団体との交流の促進 | 今年度より、老人介護施設への慰問を始めた。生活発表会で披露した歌や踊りを披露し、喜んで頂けた様子を見て、子どもたちも労りの気持ちが芽生えてきた。勤労感謝の日には、近隣の消防署・警察署などを訪問した。各行事を通して地域の信頼と理解を深め、開かれた幼稚園になるよう努めてきた。反省会を行い、次年度の地域交流へつなげていきたい。 | 施設の入所者が喜び、子ども達も労りの気持ちが持て、お互いに良い刺激になる。ぜひ、そのような活動は続けていって欲しい。 |
| 4 | | [大学・地域のイベント等への参加] 大学・地域のイベント等への参加による幼稚園の理解促進 | 地域のイベントとして、今年も折尾地区の「折尾祭り」へ年長児が参加し、踊りを披露した。また、折尾駅の七夕飾りへ参加したところが新聞に掲載された。九州女子大学の音楽表現会に参加し、学生との交流を持つことが出来た。 | 大学の附属幼稚園の強みであり、大学や地域を活用しての体験は非常に良いと思う。市民センターにも手作りの物を提供するなど地域を大事に関り合いを持ち有難い。 |
| 5 | | [大学教員との連携] 大学教員との連携・協働による教員の質の向上 | 大学教員と連携を図り、専門的知識を学び保育の質の向上に努めた。科学遊び・造形教室では、子どもたちが喜んで集中する姿などが見られ、知的好奇心の学びへと繋がっていた。体育教室では、体力向上をめざし基礎的な運動を学んでいった。今年度からマラソンを始め、年間を通して園全体での取り組みに力を入れてきた。 | 大学教員の専門的な内容で、子ども達に合った学習の計画、折尾幼稚園ならではの素晴らしい活動だと思った。跳び箱・マット運動などの基礎的な運動は、小学校に入っても恐怖心なくスムーズに取り組めることに繋がっていて良いと思う。 |

| | | | | |
|---|----------|--|--|---|
| 6 | | <p>[学生との連携] 学生企画のイベント等への参加、および学生とのコラボ企画による園のアピール</p> | <p>園の大きな行事（運動会・生活発表会・餅つき・折尾幼稚園まつり&作品展）への学生ボランティアを募り行事への参加を促進した。また幼稚園実習生も参加し、教職員全体で学生との連携を取りながら取り組むことが出来た。</p> | <p>子どもたちは学生ボランティアを喜ぶだろうし、たまには違う人が来られて接することも必要だ。幼稚園は積極的に活用されている。</p> |
| 7 | | <p>[未就園児教室の充実] プログラムの提供、園行事への参加促進、ならびにクラス見学等への実施</p> | <p>3月に昨年度の未就園児教室の内容を見直し、新規計画の検討を行い、2019年度の年間計画を作成した。今年度から、2日間の日にちを設定し参加者が曜日を選べるように工夫した。2日間になったことで、少人数での会となり参加者と話が出来、時間に余裕が出来、目が行き届くようになった。また新たな内容を吟味して取り組んでいきたい。</p> | <p>未就園児教室を2日に分けて行ったのは、時間に余裕が出来たと思う。良い取り組みだと思う。</p> |
| 8 | 幼稚園運営の強化 | <p>[ホームページ等による広報活動の推進] ネット社会を活用した情報発信により、保護者の関心を生み出し未就園児教室に参加を促し、信頼関係を構築し入園に繋げる。</p> | <p>昨年度、学校評価でいただいたアドバイスを元に、職員で未就園児教室のお知らせを配布したり、ショッピングセンターなどへ要項の掲載をお願いしたりと情報発信を行った。ホームページへの更新に心がけ、行事ごとの発信を行った。</p> | <p>特色ある幼稚園をアピールしていく。口コミ・ホームページでアピールし、情報発信するといいい。 活動写真などは、個人情報の問題があるから難しさがあるが、内容のわかる事が必要であると思う。職員みんなで要項を配布して回ったことは職員の団結力に繋がるのだと話を聞いて思った。</p> |
| 9 | | <p>[幼小連携プログラムの策定] 幼小連携を強化し、幼稚園の存在をアピール</p> | <p>各小学校とのスケジュール調整を行い、今年度は折尾東小学校へ年長児が学校見学に行き、小学校への期待が持てるような取り組みが行えた。幼少連携についても、年度当初に見直しを行い、小1プログラムへの対応が出来スムーズな連携が取れてきた</p> | <p>歩いて行ける則松小学校とも、連携をし、学習発表会や音楽会なども、観ることが出来るので、交流を深めたら良いと思う。また、学校見学などを取り入れ、小学校を身近に感じられると思う。</p> |